

児童が主体的に学習に取り組むことができる。

学校教育目標
「なかまと力を合わせて幸せを創り出せる子どもの育成」
意欲的に学び 確かな学力を身に付ける子
豊かな感性を持ち 自分もなかまも大切にできる子
心身ともにたくましく 生き生きと活動する子

なかまと協力し、対話を通し、課題に取り組むことができる。

研究主題
自分の考えを、自分の言葉で表現できる子どもの育成
～なかまと共に学び合い、「わかった」「できた」を実感できる授業を創造する～

ユニバーサルデザインの視点を学校活動全体で

国語科説明文を切り口として

- 授業のユニバーサルデザイン
 - 全員が楽しく「わかる」「できる」授業にすること
 - 焦点化、視覚化、共有化の手立てを取り入れること
- 人的環境のユニバーサルデザイン
 - クラスのなかまづくりの取組に関すること
- 学習環境のユニバーサルデザイン
 - 教室内の環境を整えること
 - 刺激量の調整

- 授業部
 - 全員参加を促す課題づくり
 - 対話が生まれる課題づくり
 - めあてとふりかえりのある授業づくり
 - 焦点化・視覚化・共有化を取り入れた授業づくり
- 情報環境部
 - 効果的な視覚支援の検討
 - 学習環境の整理
 - 児童アンケートの分析
- 基礎学力部
 - 昼学習の帯時間の活用
 - ペア対話の方法の定着

特別支援教育
「一人ひとりの教育的ニーズを把握し、生活や学習の困難を改善または克服するための、適切な支援を行い、なかまと高め合おうとする児童を育成する。」

生徒指導・人権同和教育
「それぞれの違いを認め合い、高め合うなかまの育成」
「自尊感情を高め、自己実現ができる子どもの育成」

校内研修体制
○全員が三部会に所属する。
○全員が年間1回、授業公開を行う。(低中高1本ずつ全体公開)
○模擬授業による事前検討会を実施する。

